

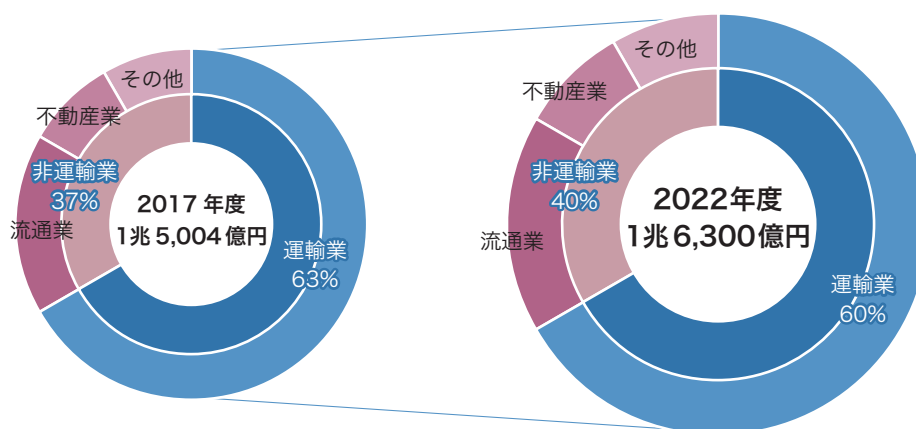
ホテル事業	
事業戦略	多様なお客様の宿泊ニーズに応え、快適な滞在をサポート。 JR西日本エリア内外に1万1千室を超えるホテルチェーンを実現。
主な重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ◆宿泊特化型ホテルを中心とした出店拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ハイクラス宿泊特化型ホテル（ヴィスキオ）の複数出店 ・宿泊特化型ホテル（ヴィアイン）の積極展開 ◆既存ホテルのリノベーションと運営力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルグランヴィアの大規模リノベーションの推進（京都・大阪） ・チェーンオペレーションおよび国内外の営業体制の強化 ◆新たな業態の開発・運営による多様なニーズへの対応 <ul style="list-style-type: none"> ・訪日のお客様、観光・レジャー利用等の新たなニーズに幅広く対応できる業態の開発・運営（ハイクラス宿泊特化型ホテル、コミュニティ型カジュアルホテル、上質カプセルホテル）

※JR西日本グループ中期経営計画2022より

ホテル事業	2018年度実績	2022年度目標
営業収益	488億円	632億円

※連結ベース（流通業「ヴィアイン」+その他「ホテル業」）

JR西日本グループ 連結営業収益（セグメント別）



※ホテル事業は“その他”に含まれます

ブランド	分類	部屋数実績(2017年度)	部屋数目標(2022年度)
グランヴィア	シティホテル	2,460室	約2,300室
ヴィスキオ	ハイクラス宿泊 主体型ホテル	—	約1,400室
ヴィアイン	宿泊特化型ホテル	4,660室	約6,700室
名称未定	コミュニティ型 カジュアルホテル	—	約200室
ファーストキャビン ステーション	上質カプセルホテル	129室	約400室
合計		7,249室	約11,000室

事業価値の向上で地域社会を活性化し、長期持続的な成長を目指します。